

長崎県臨床心理士会 災害支援領域 研修会の講師を担当しました

中・長期的展望から考える災害支援 －心理職の基本的姿勢－

当オフィス室長の法澤 直子（臨床心理士・公認心理師）が、令和7年1月19日（日）10：00～16：00に開催された長崎県臨床心理士会 災害支援領域 研修会の講師を担当しました。



当日は、新垣病院（沖縄県）の諏訪 賀一先生も講師としてご参加され、災害支援の基本のキから学べる1日研修を実施しました。

そして、本研修は当オフィスのスタッフである田中 惇恵が長崎県臨床心理士会 災害支援担当理事として企画をしました。

当日は長崎県勤労福祉会館を会場とし、長崎県で心理職をされている約30名の参加者の皆さまとともに学びを深めました。



□主な研修の内容

- ✓サイコロジカル・ファースト・エイド
- ✓被災地の入り方
- ✓被災者の心理
- ✓支援者のセルフケア

□参加者の感想

- ・対面でのワークでは、様々な方と顔を合わせ意見交換をすることができ、楽しく学ぶことができました。
- ・実際の被災地の様子を写真で見ることができ、研修の内容がよりリアルに感じられました。特に、支援物資が大量に被災地におくられることで、被災者の方々が困っているという点が印象的でした。『支援と思っていることが、本当に支援であるのか？』、考えなければいけないと痛感しました。

研修会では、講話だけでなくグループワークもあり、参加者同士が交流し、互いの意見を交わしながら学べる場となりました。改めまして、ご参加いただいた皆さま誠にありがとうございました。

やまき心理臨床オフィス長崎ルームでは、このような講演会や研修会などの講師依頼を承っております。詳細は、[研修講師をお探しの方へ](#)をご覧ください。
(掲載日：2025年4月)